

皆様 こんにちは。水戸飯富特別支援学校長の高星寛咲（たかぼしひろみ）でございます。

令和6年度が始まり、4月8日の始業式、4月9日の入学式を終え、4月10日には全学年の児童生徒がそろいました。10日からは新しい友達、先生と学級・学年作りが始まり、268名の児童生徒の元気な声が学校内に響いています。

水戸飯富特別支援学校の朝は、「おはようございます」と元気な子供たちの挨拶で始まります。そこから「こんにちは」と続き「さようなら」の挨拶で下校を迎えます。本校の子供たちの挨拶は、元気で丁寧で、その中に相手を思う気持ちがしっかりと感じられるとても素晴らしいものです。

今年度も子供たちの良いところを大切にして支援し、その成長をともに感じながら、児童生徒の自立と社会参加を目指して、一人一人の学校生活が安全で楽しく充実したものになるよう取り組みます。また、児童生徒の「やってみたい」という気持ちを引き出し、主体的な学習が展開できるように指導方法をはじめとした専門性の向上を図り、皆様に「信頼される学校」、児童生徒が「明日もまた来たくなる学校」となるよう努めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様、本校教育への一層のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年4月

茨城県立水戸飯富特別支援学校長 高星 寛咲



「校庭から校舎を見上げて」 2024.4.10